

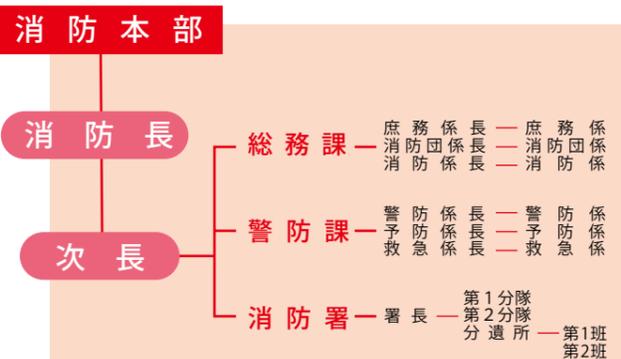
【議会】市民の声を行政に

市民の代表14人から構成されている市議会は、市の行政運営や事務処理が適切・適法・民主的になされているかをチェックし、市の施策を最終決定する機関です。具体的には、年4回の定例会と必要に応じて開かれる臨時会で、条例や予算等の議案を審議・議決するなど、活発な議会活動を行うことで市民と行政を結ぶパイプ役として重要な役割を担っています。



【行政】市民と行政の協働によるまちづくり

市民が主体となつて行う地域づくり活動を支援し、活動の中心的な役割を担う組織や人材の育成、活動拠点の充実に図り、市民と行政の協働によるまちづくりを進めています。また、市民への説明責任を果たすことで市政に対する透明性を確保するとともに、社会構造の変化に対応した行政サービスが提供できるように、課題や市民ニーズを常に点検しながら、効果的かつ効率的に健全で安定した行政運営に取り組んでいます。



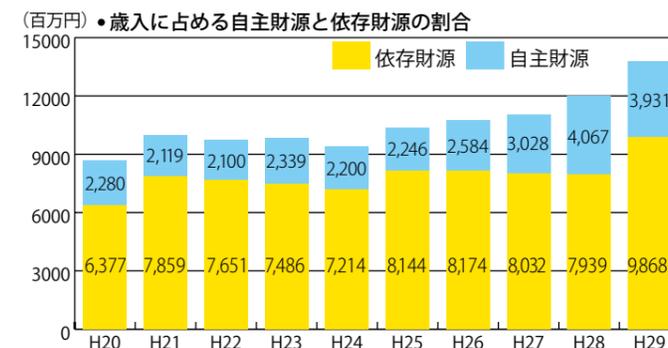
市民と共に歩むまちづくり



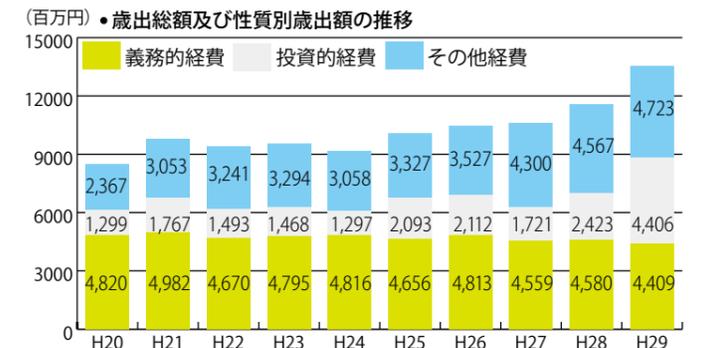
**財政** 垂水市のここ10年間の財政状況は、自主財源が少ない歳入構成は変わらないものの、国の政策やふるさと応援寄附金の増加により徐々に好転しており、決算額で見ると、平成29年度決算の歳出額が135億円程度となるなど、10年前と比較して約50億円増加しております。

さらに、市の貯金である基金残高も10年前と比較して財政調整基金を中心に35億円程度増加し、借金である地方債残高は11億円減少するなど将来への負担についても徐々に軽減され、本市の財政状況は健全な状態が保たれております。

●歳入 平成29年度一般会計歳入決算額 137億9,914万9千円



●歳出 平成29年度一般会計歳出決算額 135億3,769万3千円



※投資的経費：道路、公共施設の建設や用地購入など社会資本の形成に必要な経費のことです。  
 ※義務的経費：家計における住宅ローンの支払いのように、地方公共団体の歳出のうち、その支出が義務付けられていて任意に削減することが難しい経費のことです。